

2011年2月14日

2011年度「都市と環境(Ⅱ)」シラバス

トータルコーディネーター：花木啓祐

6月7日～6月28日

火曜6限(18:30-19:50)・火曜7限(19:55-21:15)

□ 講義の目的

持続可能な都市の形成のためには、安全かつ快適な都市環境および生活環境を将来世代にわたって創造していくことが必要になる。いまや多様な環境問題を把握した上で都市のプランニングを行うことがいまや必須となっている。そのような環境問題の今日的な課題、計画技術・工学技術の修得を「都市と環境」講義シリーズの目的とする。全体を2部に分け、第2部である本講義では大気・熱環境と環境リスク・廃棄物を主として対象とする。

□ 講義項目

1. 都市と大気・熱環境

- (1) 大気・熱環境問題の特徴(亀卦川) 6月7日7限
- (2) 大気・熱環境問題のメカニズム(亀卦川) 6月14日7限
- (3) 大気・熱環境汚染の制御と対策技術(亀卦川) 6月21日7限

2. 環境リスク・廃棄物マネジメント

- (1) リスク指標とその活用(福士) 6月7日6限
- (2) 土壌・地下水の汚染と浄化(栗栖太) 6月14日6限
- (3) 都市水環境と生態系影響評価(中島) 6月21日6限
- (4) 日本の廃棄物行政(森口) 6月28日6限
- (5) 廃棄物の処理及びリサイクル技術(森口) 6月28日7限

□ 理解すべき事項

都市活動が大気環境に与える影響と大気中での汚染物質の挙動、また人工排熱と地表面の改変によって生じるヒートアイランドの形成と対策を理解する。土壌、水、大気を通じて都市活動が人間の健康に与えるリスクと生態系への影響およびその評価を学ぶ。さらに、循環型社会を目指した廃棄物の管理についてその基礎を学ぶ。

□ 成績評価

教員から課された合計3編のレポートをもとに出席状況を加味して評価する。

- ①亀卦川が1題、②福士・栗栖・中島で1題、③森口が1題